

つなぐれ和泉っ子

～人と社会と未来の自分～

和泉



6 月号

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izu>

あいさつのちから

校長 荒海 透

6月に入り今年も本格的な夏を迎えようとしています。日本気象協会の発表によれば、8月までの向こう3か月、平均気温が高くなる確率は70%ということです。少しでも暑さを凌ぎ、涼しくするにはプール!というのがこれまでの定番でした。それが近年は熱中症対策のために暑すぎてプールに入ることができない、という事態が起きるようになりました。来週木曜日の朝会では「プール開き」を行います。各学年5回ほど計画されている水泳学習ですが、今年は何回入ることができるのでしょうか。水の冷たさ、心地よさを味わい、夏らしさを満喫してほしいものです。

さて、今月の22日に今年度1回目の学校運営協議会が行われました。学校運営協議会は、佐々木会長や平川副会長をはじめとする14名の委員で構成されています。町内会や自治会の代表を務める方々や学援隊、学校・地域コーディネーター、PTA、中和田中学校の校長先生がメンバーとなっています。毎年、入学式と卒業式ではご来賓として参列していただいています。今年度初となる協議会では、学校の教育活動方針や重点取組、子どもたちの様子などについてお話をさせていただきました。その後、各クラスを回り授業参観をしました。通常の授業の様子を見ていただく機会は少ないので、参観後、ご感想をいただきました。その一部を紹介します。

- ・子どもたちが、やわらかい表情で落ち着いて学ぶ姿を見て安心しました。
- ・タブレットを上手に活用しながら学ぶ姿が印象に残りました。
- ・子どもたちの生き生きとした様子を見て地域として何か協力できることはないか考えさせられました。
- ・どの教室でも先生と児童が整然とした雰囲気の中で授業を進めているように見受けられました。
- ・先生方の取り組みも、一生懸命さが感じられました。
- ・元気な声、楽しそうな雰囲気、積極的に発言している姿、先生との距離感、和泉小の良さを思い出しました。
- ・自分の子どもが通っていたころに比べて、子どもの数が減っていると実感しました。その少ない子どもたちが、安心・安全に育っていける手助けが少しでもできればと思います。

たくさんのお褒めの言葉に恐縮してしましますが、普段から子どもたちの様子を見守ってくださっている委員の皆さんの言葉は、心からのお言葉であると感じています。登下校の見守りや、地域の行事等で関わりのある方々ばかりです。和泉小の子どもたちを見守り、お力を貸していただける応援団の存在に改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。そんな皆さんがうれしくなることとして挙げられたのは「子どもたちからのあいさつ」です。言葉を交わさなくても、あいさつをすることに人々を前向きにつなげる力があるのだと思います。和泉小は今年度も「あいさつ」に力を入れていきたいと考えています。目指すところは力を入れなくても自然にできる「あいさつ」です。学校教育目標は「つなぐれ 和泉っ子」です。まずはあいさつからつながりを目指します。